

平成15年度活動及び事業報告

特定非営利活動法人『古川学人』が吉野作造記念館の管理運営を受託して2年が経過いたしました。古川市との有益なパートナーシップを構築しながら管理機能と企画運営機能の基礎づくりがようやく出来た状況です。これからが本番です。特に今年度は大崎地区の合併が予定されておりますので、NPO古川学人の自主運営の真価が問われる重要な年度になる事は必至です。

市民の財産である吉野博士の関連史料の保全は無論、民本主義の精神を継承する事を念頭において、記念館と市民との距離をより身近なものにしなければなりません。当施設が市民にとって有効かつ生活の一部になるような運営を目指す活動をしてまいります。今後も皆様のご意見を拝聴しながら記念館の発展を図りたいと考えております。

以下に平成15年度の活動について、事業関係・人事管理・事務管理・設備及び環境管理の項目に分けて報告します。

【実施事業】

平成15年度の事業につきましては、別紙報告の通りです。記念館の目的である吉野博士の功績をより多くの人に知って頂き「民本主義」の継承をすること、そして、博士に関連する貴重な文献、史料の適正管理を念頭に事業計画をたてました。

1. 文化の発信基地としての構築を図る

吉野作造記念館が情報や文化の発信基地としての役割を果たすための研究や情報管理の向上を図ってまいりました。吉野講座やイベントを通じてより多くの人に吉野博士を知っていただき民本主義の意義を伝承する事業の取り組みを行いました。

2. 古川市とのパートナーシップの構築

パートナーシップの根幹は、対等・相互の理解と尊重です。特定非営利活動法人古川学人が一つの目的を持った独立の組織体であることを認知して頂くことに傾注しました。また、職員に自立心と民間サービスを自覚させ更にスキルアップをするための研修会等を行いました。

3. 資料の保存管理

保存方法の研究と管理方法の適正化に取り組みました。特に「史料にやさしく且つ自然環境にやさしい」の二点に重点をおいた運営を行いました。温度管理はもちろん湿度管理・防虫管理・安全管理の対策を強化取り組みました。

【人事管理】

1. 職員研修

平成15年6月10日所要回数3回実施（研修プログラムNO1～NO4を作成）

2. 職員の視察研修

視察研修を9月8・9日に実施しました。

【事務管理】

1. 監査

H. 15. 5. 5日、内部監査を実施しました。

H. 15. 6. 6日、古川市の監査が行われました。

2. 金庫購入

現在の書用品や現金の保管管理について、容易に開錠できる状態であり法人としての管理責任と購入

開館してから約8年を経過しており、正面玄関の木製ドア2つの内、外側のドアを強化ガラスのドアに交換しました。従来の木製ドアは歪みがひどく黒く汚れが目立ち修復不能となり、新しく交換を致しました。

【その他】

1. 平成16年1月13日館長室のソファの修理を行いました。
2. 平成16年1月15日研修室の音響修理を行いました。
3. 研修室のスポットライトの新規購入を致しました。
4. 平成1月7日に講座室の照明取付工事を行いました。